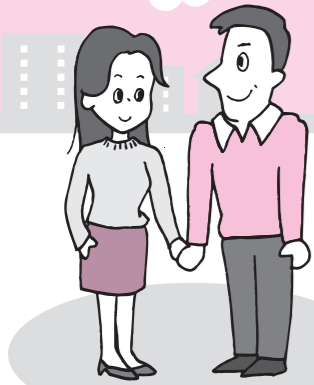


# ジェンダーチェックで あなたの本音を探ってみよう!



## A パートナーとの関係は? .....

- ・家や車の購入など大きな支出は夫に決定権がある。 はい いいえ
- ・妻子を養うのは男の甲斐性である。 はい いいえ
- ・夫を「主人」と呼ぶのは当然だ。 はい いいえ
- ・妻は夫の家の墓に入るものである。 はい いいえ

☆ はいの合計数 ( )

## B 男性の家事参加度は? .....

- ・お茶が飲みたいときは自分で入れる。 はい いいえ
- ・ゴミの分別のルールを知っている。 はい いいえ
- ・妻は夫に家事を任せ、家をあけて出かけることができる。 はい いいえ
- ・献立を考えて買い物ができる。 はい いいえ

☆ いいえの合計数 ( )

## C 仕事と家庭のバランスは? .....

- ・女性は家事や子育てに支障がない程度に働けばよい。 はい いいえ
- ・仕事をするには家庭のことを忘れるくらいでないとやれない。 はい いいえ
- ・子どもが小さいうちは、母親は外で働かない方がよい。 はい いいえ
- ・家庭を優先している男性は出世をあきらめたと感じる。 はい いいえ

☆ はいの合計数 ( )

## D 休日は誰のため? .....

- ・家族の休む休日、女性(妻)はかえって忙しい。 はい いいえ
- ・男性(夫)は休日にも趣味や仕事仲間との付き合いを大事にする。 はい いいえ
- ・デートの費用はいつも男性がもつ。 はい いいえ
- ・デートは男性がしきるものだ。 はい いいえ

☆ はいの合計数 ( )

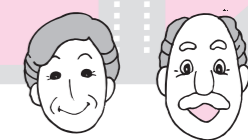
## E 職場の中では? .....

- ・女性社員だけ制服があるのは、服装が乱れなくてよいことだ。 はい いいえ
- ・お茶くみや雑用は女性の仕事だと思う。 はい いいえ
- ・場を盛り上げるためには性的なジョークも必要だ。 はい いいえ
- ・女性の上司だと仕事がやりにくい。 はい いいえ

☆ はいの合計数 ( )



# アンケート意見集



今回のアンケートでは「男だから」「女のくせに」と、日常何気なく使っている言葉について、ご意見を自由に書き込んでいただきました。「つい使ってしまう自分に気付いた」「こんな言葉を言われると嫌だ」という声が多くありました。そのほか、「気にし過ぎだ」という意見や、「男らしい、女らしいがなぜいけない?」という疑問もありました。さて、皆さまはどうお考えでしょう?

「正直今の職場にあっても、女性の力はすごいと思うし、かかせない存在だと思う。ただ、女性には女性らしい心づかいも大切。それぞれの役割をうまく組み合わせることが共同参画の意味ですよ。【20代男性】」  
「女性が社会的役割を持って生きるのに賛成なので、男性の家庭的役割も大切だと思います。【20代女性】」

「男がリードする」ってのが嫌。【20代男性】

「職場で、観葉植物にお水が足りず、土が濁っているのを見た人が、ここの職場に女はいないのか!」と言われて驚いた。【30代女性】

「仕事でトラブルが発生した際、女性相手ではお客様が強気に話してくるが、同じ状態で男性が対応すると変わってしまうのは、男と女ではやはり世の中の見方が違うの? 【30代女性】」

「男だから女だから」とひとまとめにすることなく、「目の前の人にとってどうか?」を伝えていくことが大切だと思う。【30代女性】

「女が外で働くときと生憎になるという言い方をされます。いろいろな知識を得て、自分の思いを素直に表現できるようになって良いのにと思います。【40代女性】」

「私は女だから」といった権利を主張する女性が多いのは、私の周りのことだけでしょうか? 【50代男性】

「差別をもった言葉は確かにあるが、だからといって使わないようにすることは文化の喪失。【50代男性】」

「男のくせに女のくせに」も時と場合で良いと思う。しよせん、男と女しかいないのですから仲良く... 【60代女性】」  
「昔と違って「男のくせに」などとは言わないが、あまりにも今の男はだらしない。【60代男性】」

「こうしたことを問題にすることが理解出来ない。【70代男性】」

「お互いに人権を尊重して、今、どうすべきかを考えるような人を育成していかなければと思います。まず、自分の心の中からその枠を取り外す努力をしてみませんか。【70代女性】」

### すべての項目の合計数を足した 数があなたの数になります。

0~5  
個の人

● あなたの考えや行動そして家庭、まさにバランスの取れたいい状態! これからも多くの人にあなたの考えを伝えていってください。

6~11  
個の人

● 意外なところで性別へのこだわりが...。自分らしさ、その人らしさに視点を変えることで、バランスのとれた生き方が見えてきそうですね。

12~16  
個の人

● まだまだ性別による役割意識があるようですね。どの分野(A~E)の数が多かったか見直してみましよう。

17~20  
個の人

● あなたは性別による役割に相当なこだわりがありますね。もう一度日常生活を見回してみましよう。

「男らしい女らしい」「がいがい...」  
ないわけではありませんが、それを人に求めたりすると生き方がお互いに窮屈になりませんか。もちろん男と女という性差はあり、生まれつきの性別(セックス)は違います。しかし、社会的に作り上げられた男性像、女性像といった社会的性別(ジェンダー)はその時代や、国によっても変わってきます。もし性別による偏見や固定観念が、生き方を狭めているとしたら、変えていくこともできるはずですよ。「女性も男性も互いを認め合い、支え合い、自分らしくいきいきと力を発揮できる社会」に向けて、「変わる」「気づく」「きっかけになったら」と願い特集しました。アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。